



おまかせクラウドアップセキュリティ

RetroScan有効化手順

東日本電信電話株式会社

変更履歴

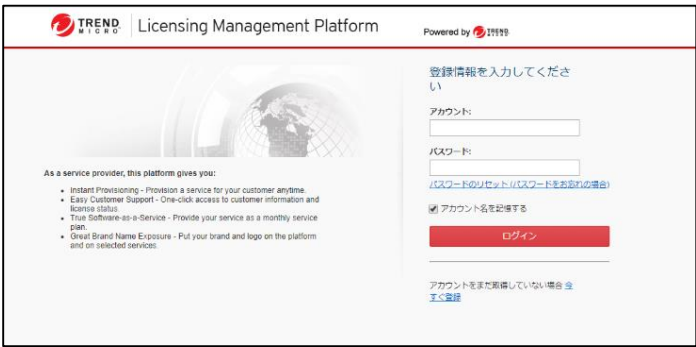
年月	版	変更内容等
2022年07月20日	第1.0版	初版制定

【1】	RetroScan有効化手順

【1】RetroScan有効化設定手順

RetroScan設定手順 (1)

1. コンソール画面ログイン



アカウントIDとパスワードを入力して「**ログイン**」を押下します。



⚠ セキュリティをさらに強化

サイバー犯罪が高度化するにつれて、不正アクセスからインターネットアカウントを保護するにはパスワード保護だけでは不十分な場合があります。アカウントを適切に保護するために、2要素認証をあなたに有効にすることを強く推奨します。



2要素認証とは
2要素認証により、モバイルデバイスを使ってアカウントへのサインイン時に本人確認を行うことが可能になります。2要素認証によりセキュリティが強化され、パスワードが盗まれた場合でも、不正アクセスを防ぐことができます。
[詳細](#)

2要素認証が重要な理由
サイバー犯罪者によって本アカウントに不正アクセスされた場合、本コンソールからアクセス可能なトレンドマイクロ製品の保護をすべてオフにされる恐れがあります。それにより個人データ、企業機密、銀行情報への不正アクセスや、盗用、ランサムウェア、破壊などの被害を発生させる可能性があります。トレンドマイクロはアカウントを保護するために、2要素認証をあなたに有効にすることを強く推奨します。

2要素認証設定を行う ①

今後このメッセージを表示しない [危険性を理解したうえで、スキップします](#)

①左図画面が表示された場合のみ、「**2要素認証設定を行う**」を押下します。
※設定方法は「**2要素認証設定マニュアル**」をご参照ください。

RetroScan設定手順 (2)



②「**コンソールを開く**」を押下します。



コンソール画面にログインできていることを確認します。

③「**高度な脅威対策**」を押下します。

RetroScan設定手順 (3)

追加	削除	コピー	手動検索の実行	内部ドメイン
優先度	ポリシー			
Exchange Onlineポリシー				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> オフ 初期設定のExchange Onlineポリシー - 高度な脅威対策 (監視のみ) 初期設定のポリシー: 監視モードで動作して、対象の検索と検出の記録のみを行います。すべての処理は			
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> オン 初期設定のExchangeポリシー - 高度な脅威対策 ④ 初期設定のポリシー: 別のポリシーが作成されていない場合に対象として使用されるポリシー			

④ 設定するポリシーを選択し押下します。
※次工程⑤～⑥はExchangeOnline及びGmailのみで作業を行います。

高度な脅威対策ポリシー | Exchange Online

⑤

高度なスパムメール対策 高度なスパムメール対策を有効にする
 検出機能向上のため不審メール情報をトレンドマイクロに送信する

検出レベル:
 高
 中
 低

表示名のスプーフィング検知: 企業内で使用している表示名と似た表示名を持つ外部送信者からのメッセージを分析する

⑥ Retro Scanと自動修復: 送付のメールメッセージを再検査し、修復処理を実行する

⑤ 「高度なスパムメール対策」タブを開き、「高度なスパムメール対策を有効にする」にチェックを入れます。

「検出機能向上のため不審メール情報をトレンドマイクロに送信する」にチェックが入っていない場合、チェックを入れます。
※デフォルトでチェックは入っています。

⑥ 「Retro Scanと自動修復」にチェックを入れます。

⑦ メッセージウィンドウが表示されるため、「OK」を押下します。

Retro Scanと自動修復を有効にすると、「検出機能向上のため不審メール情報をトレンドマイクロに送信する」が有効になり、Cloud App Securityでメールのメタデータを収集して、Retro Scanを実行できます。

続行しますか?

⑦

OK キャンセル

RetroScan設定手順 (4)



Retro Scanと自動修復を有効にすると、[検出機能向上のため不審メール情報をトレンドマイクロに送信する] が有効になり、Cloud App Securityでメールのメタデータを収集して、Retro Scanを実行できます。

続行しますか?

11

OK

キャンセル

⑧「Webレピュテーション」タブを開きます。

⑨「Webレピュテーションを有効にする」にチェックが入っていない場合、チェックを入れます。(デフォルトでは入っています)

⑩「Retro Scanと自動修復」にチェックを入れます。

⑪メッセージウィンドウが表示されるため、「OK」を押下します。

⑫「保存」を押下し設定を保存します。

商標について

- Microsoft、Microsoft 365、OneDrive、Exchange、SharePoint、Teams、Office 365は、米国Microsoft Corporationの、米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Google Workspace、Gmail、Google DriveはGoogle LLCの商標です。
- Dropboxは米国Dropbox, Inc.の商標または登録商標です。
- Boxは、Box, Inc.の商標または登録商標です。
- Trend Micro Cloud App Security、Cloud App Securityは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。